

フィンドレー大学への協定校留学 10月分報告書

留学先大学；フィンドレー大学

氏名；高橋光子

【はじめに】

今回は、授業とクラブ活動について主にお伝えしたいと思います。

【日本語関係の授業について】

フィンドレー大学には、日本語関係の授業がいくつかあります。私は三つの授業をとっているのですが、お勧めすることはできません。一つ目の、日本の映画を見て、外国人の生徒と日本文化についてディスカッションをするという授業は、映画を見るため、授業時間が三時間です。アメリカの生徒二人に対して、日本人の生徒が約十人なので、授業内ではほとんどアメリカ人学生と話す機会はありません。二つ目は、課外活動が主になっている授業です。これは、小学校を訪問して子供たちと交流したり、地域のコミュニティに参加したりするという授業です。しかし、先生の都合により四週間連続で連絡もなしに授業がなくなり、課外活動も中間テストが終わった時点で一つしかできていない状態でした。IELPの授業を受けているだけでは関わることはできない年代の人たちと関わると期待していた授業が、まともに行われないう状態で落胆しました。三つ目は、げんきキッズという授業です。これは、日本人だけで構成されている授業で、最初の4,5回の授業で教案を考え、その後の6回ほどの授業は子供たちに日本語を教えるというものです。実際に小学生が大学に来て、私たちが教壇に立って授業をします。これは、授業時間外での準備がかなり大変ですが、子供たちに日本語教えるという貴重な経験ができるため、時間に余裕がある人は取ってもいいと思います。三つの授業の中では、この授業は毎週しっかりと行われます。このような状況のため、ドロップアウトをした学生は少なくありません。自分が何をやりたいのかをしっかりと考え、優先順位を決めて授業をとることが重要です。

【クラブ活動について】

私は、Student Activity Board という学内でのイベントを運営する学生団体と、Japanese Culture Club という日本文化をアメリカの学生と楽しむクラブ活動、Wildness Club という自然について理解を深め、自然とかかわるアクティビティに参加できるというクラブ活動、Circle K というボランティアに参加しています。Student Activity Board は毎週月曜日ミーティングを行い、イベントの運営について話し合います。それ以外のクラブ活動は毎週あるわけではないため、行きたいときに行くという感じです。Students Activity Board では、学年・国籍問わず、色々な人と関わることができ、運営側に回るができるため、やりが

いがあります。フィンドレーで一番大きなイベントであるハロウィーンパレードにはボランティアとして参加することができ、仮装をしてデコレーションされたトラックとともに、子供たちにお菓子を配りながらパレードに参加しました。観客としてパレードを見ているだけではなく、パレードに参加しハロウィーンの文化を体験することができたため、とてもいい経験になりました。

【おわりに】

もうすぐ Final Exam の時期になるので、次回の報告書では、学期末の授業や課題などについてお伝えしたいと思います。



これは、Student activity Board の代表の方が企画してくださった Motor City Comi Con に行った時の写真です。様々な仮装をした人たちと写真をとることが、とても有意義な時間を過ごしました。



これは、Wildness Club の活動でハイキングに行った時の写真です。とてもきれいな紅葉を見ることができました。